

第 32 回広島市新人演奏会 出演申込書

記入例

財団法人広島市文化財団理事長 様

平成 23 年 3 月 10 日

ふりがな 氏名	ぶんか たろう 文化 太郎	昭和 63 年 4 月 30 日生 平成 22 歳 (男・女)	写 真 (ヨコ 35 mm × タテ 45 mm 程度) 裏面に氏名を明記して 貼付してください。
住所	〒 730-0812 広島市中区加古町 4-17		
TEL (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇	携帯 (〇〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇		
FAX (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇			
e-mail(携帯・PC メール)〇〇〇@〇〇.〇〇〇.〇〇			

4 月以降の連絡先(変更がある方のみ)

〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号

TEL (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇
FAX (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇

帰省先

〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇号

TEL (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇
FAX (〇〇〇)〇〇〇 -〇〇〇〇

略 歴(音楽上の履歴・受賞歴など) *40 字 8 行以内。プログラムのプロフィール原稿になります。

19〇〇年、「第〇〇回〇〇〇〇コンクール」〇〇賞受賞

19〇〇年〇月、〇〇高等学校卒業

19〇〇年、「第〇〇回〇〇〇〇コンクール」〇〇賞受賞、〇〇演奏会出演

19〇〇年、〇〇〇〇アカデミー参加

現在、〇〇大学院〇〇に在学中(予定)

広島市との関係(出演資格) ※出生地又は勤務先が広島市内の場合は、区名まで記入。

広島市〇〇区にて出生/広島市立〇〇小学校・〇〇中学校・〇〇高等学校卒業/
〇〇大学卒業/〇〇大学大学院修士課程在学/〇〇会社勤務(広島市〇〇区)など

学校名等	〇〇〇〇 大学 〇〇〇〇 学部 〇〇〇〇 科 〇〇〇〇 専攻 (卒)・修)		
部 門	声楽(声部: テノール)	器楽(楽器名: ピアノ)	
師事した 先生の 氏 名	声楽を〇〇〇〇氏、〇〇〇〇氏、〇〇〇〇氏に師事。 器楽を〇〇〇〇氏、〇〇〇〇氏、〇〇〇〇氏に師事。		

ふりがな 伴奏者名	ぶんか じろう 文化 次郎	TEL (〇〇〇) 〇〇〇 -〇〇〇〇	譜めくり 有 ・ (無)
--------------	------------------	-----------------------	--------------

※注意事項 住所等、記載内容に変更があった場合は、速やかに当財団までご連絡ください。
提出する前に、出演資格要件を全て満たしているかどうか、申込書に記入漏れ等がないか、いま一度ご
確認いただき、コピーをとったうえで当財団まで提出してください。
コピーは、当財団からの問い合わせ時等に必要となりますので、各自で保管しておいてください。

[演奏曲目]

1 新人演奏会

声楽／オペラ・アリア又はオーケストラ伴奏の歌曲で、演奏時間は10分以内2曲まで。

器楽／演奏時間が15分以内の曲を1曲。

※1 制限時間は厳守してください。

※2 申込み後の演奏曲目の変更は認めません。ただし、広島プロミシングコンサートの実施上著しい支障がある場合は、曲目の変更をお願いすることがあります。

「演奏曲目」「作者」は、原語と日本語で正確に(特に原語は、師事した先生の指導を受けて)記入してください。				演奏時間
区分	演奏曲目		作曲者	
新人演奏会	日本語	バラード 第2番 口短調	リスト	13分 50秒
	原語	Ballade No.2	F.Liszt	
	日本語			分 秒
	原語			

2 プロミシングコンサート (器楽の方のみ記入)

演奏希望曲目は、第1、第2希望の両方を必ず記入してください。

区分	演奏時間	演奏曲目	
器楽	ピアノ	35分以内	原則として、第1、第2希望ともに新人演奏会で演奏した楽曲と同一の作曲家の作品を1曲。
	その他	30分以内	原則として、第1希望は新人演奏会で演奏した楽章を含む楽曲(協奏曲など)。それが不可能な場合及び第2希望は同一の作曲家の作品を1曲。

※1 制限時間は厳守してください。なお、楽章等のカットは認めません。

※2 広島プロミシングコンサートの実施上著しい支障がある場合は、曲目の変更をお願いすることがあります。

「演奏希望曲目」「作者」は、原語と日本語で正確に(特に原語は、師事した先生の指導を受けて)記入してください。				演奏時間	
区分	演奏希望曲目		作曲者		
プロミシングコンサート	第1希望	日本語	ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調	リスト	20分 00秒
		原語	Konzert fur Klavier und Orchester No.1	F.Liszt	
	第2希望	日本語	ピアノ協奏曲 第2番 イ長調	リスト	21分 30秒
		原語	Konzert fur Klavier und Orchester No.2	F.Liszt	